

## 報告書抄録

ふりがな	ほうりゅうじわかくさがらんあとはくつちょうさほうこく
書名	法隆寺若草伽藍跡発掘調査報告
副書名	
巻次	76
シリーズ名	奈良文化財研究所学報
シリーズ番号	
編著者名	森郁夫・深澤芳樹・次山淳・高橋克壽・中川あや・今井晃樹・林正憲・肥塚隆保・山本崇・ 島田敏男・大林潤・光谷拓実・大河内隆之・清水重敦・石村智・牛嶋茂・中村一郎・ 杉本和樹・鶴見泰寿・平田政彦・南部裕樹
編集機関	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所
所在地	〒630-8577 奈良県奈良市二条町2丁目9番1号 TEL. 0742-30-6733（奈良文化財研究所庶務係）
発行年月日	2007年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	データ		北緯	東経	調査 期間	調査 面積	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
わかくさがらんあと 若草伽藍跡	ならけん 奈良県 いこまぐん 生駒郡 いかるがちょう 斑鳩町	29344	7-D-70	34°36'47"	135°44'09"	1968年 8月16日～ 9月19日  1969年 9月30日～ 11月25日	902.75㎡	学術 調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
若草伽藍跡	寺院	飛鳥時代	金堂・塔の基壇 掘込地業	軒瓦、道具瓦、 丸瓦、平瓦、土 師器、須恵器、 石製品、金属製 品など	金堂と塔が南北 に並ぶ伽藍配 置。整地土の重 複関係から、ま ず金堂を造営 し、次に塔を建 設したことが判 明した。